

建築展2005

環境システム工学科 3年 林田直樹 担当教員：伊東龍一

1. はじめに

例年、熊本大学工学部環境システム工学科建築系の建築展は、工学部1号館の製図室に展示空間を作成し、日頃学生が学んでいることを一般に公開する場として位置づけられてきました。

しかし昨年度からは例年と違い、学生の考えを社会に向けて積極的に投げかける場へと変わりました。それを受けて今年の建築展では、私たち熊本大学の学生と関わりの深い社会である「子飼商店街」をテーマに取り上げました。

2005年4月に建築展実行委員を発足してから10月末の建築展に至るまでの建築展2005の足跡をここに報告させていただきます。

2. 企画目的

私たちが日頃取り組んでいる設計課題は、敷地や施設、諸室の規模などの条件が全て与えられた上で行われます。今年の建築展ではその前段階である敷地の設定、求められる施設の種類の種類、規模などを考え、建築を計画する一連のプロセスを学びます。さらにいくつかの聞き取り調査を行い、その結果を読み取り、設計に反映させます。

また提案を伝える図面や模型の展示場所として、子飼商店街の空き店舗や熊本大学の製図室に展示空間を計画します。材料の選択、木材の加工法や接合部の詳細のおさまりを実際に計画し、大作業を通してモノを作り上げることを学びます。

3. 建築展2005実施内容

■調査

- ・熊本大学の学生を対象とした購買行動のアンケート調査
- ・子飼商店街経営者を対象としたインタビュー調査（以上は熊本大学文学部地域社会科との共同調査）
- ・子飼商店街における自転車利用者を対象とした意識調査
- ・子飼商店街歩行者を対象とした聞き取りアンケート調査

■提案

- ・子飼商店街に向けた、商店街の未来像の作成、発表

■展示

- ・子飼商店街の空き店舗を改装し、提案の模型・図面を展示
- ・子飼商店街の空き店舗を改装し、建築展の活動内容と調査結果の報告を展示
- ・熊本大学工学部1号館6階製図室にて研究室の研究成果の展示

■講評会

- ・碩台地域コミュニティーセンターにて提案の発表と講評

4. 作業風景・展示風景



子飼商店街



調査



中間発表会



講評会



製図室展示



建築展看板



インフォメーションブース



サイン計画



提案展示



子飼商店街看板

5. 建築展 2005 後記

私たちの考えを社会に投げかけたいという思いから始まった建築展2005は、子飼商店街での展示・発表と

いう、私たちの当初からの目的を最もよく表せるかたちで幕を閉じることができました。しかし子飼商店街が抱える問題は私たちが半年間考えただけで解決できるような簡単なものではなく、アンケート調査を実施し、子飼商店街の方々との対話を経て、子飼商店街を考えれば考えるほど難しい問題が山積みであるということを確認させられました。更に、その解決法を導きだせない己の未熟さを思い知らされ、ジレンマと苦悩の日々が続きました。

子飼商店街の未来像を考えるという、今にして思えば大変おこがましい企画ではありましたが、この建築展を通して、私たちだけでなく多くの方々が子飼商店街を考えるきっかけをつくりたいという意図は、少なからず実を結んだと確信しております。それは建築展2005終了後も、子飼商店街を通る度に声をかけていただいたり、店舗改装の相談をしていただいたり、商店街の自転車乗り入れを規制するサークルが立ち上がったりと、商店街に小さな変化が生まれていることを実感するからです。建築展で築いた子飼商店街とのつながり、人と人とのつながりが今も続いていることを大変嬉しく、有難く思います。

今後は、建築展2005が終わりではなく始まりだと言えるよう、多くの方々とのつながりを大切に、更なる飛躍を目指して精進したいと考えています。